

# 川崎市国際交流センターのイベント・講座案内

EVENT

## 川崎市・ボルチモア市交流30周年記念コンサート 市民交流演奏会

2010年1月17日(日) 14:00開演(13:30開場) **無料**

◎会場: 洗足学園音楽大学ブラックホール  
◎出演: ボルチモア市ジャズ・アンサンブルメンバー、  
山田拓児クインテット、  
洗足学園音楽大学ジャズコース選抜学生メンバー

2010年1月19日(火) 18:30開演(18:00開場)

◎会場: 川崎市国際交流センター ホール、レセプションルーム  
◎出演: ボルチモア市ジャズ・アンサンブルメンバー、  
ブレイメンバンド、高津ジャズコーラス“ブルー・スカイズ”  
◎参加費: ¥1,000(当日払い)  
◎参加者: 200名 ※第2部はレセプションルームで軽食をとりながら演奏家と交流を図ります。

2010年1月23日(土) 14:00開演(13:30開場) **無料**

◎会場: 昭和音楽大学汎用スタジオ  
◎出演: [第1部] 昭和音楽大学ポピュラーコース学生&OB  
[第2部] ボルチモア市ジャズ・アンサンブルメンバー  
[メンバー] ゲイリー・トーマス教授指導 卒業生3名・在校生3名 計6名  
[ジャズ・アンサンブル構成]  
サキソフォン2名/ギター1名/ピアノ1名/ベース1名/ドラム1名

### ピーボディ音楽院

19世紀の素晴らしい建造物が残るボルチモア市マウント・パーノン歴史地区に位置する音楽大学。1957年にジョージ・ピーボディにより創立され、全米屈指の音楽大学として知られる。1977年からは全米トップの大学のひとつであるジョンズ・ホプキンス大学の傘下となった。ジャズ学科を初め、作曲、室内楽、オペラ等の14学科を擁する。



▲指導者 ゲイリー・トーマス教授

◎申し込み方法: 希望会場ごとに、往復ハガキに①~⑥を記入して下記へ送付! 締切は12月15日(火)。未就学児童は入場不可。申し込み多数の場合は抽選。①郵便番号、②住所、③代表者氏名、④電話番号、⑤希望会場名、⑥希望人数(2名まで)

〒210-8577 (住所不要)  
市民・こども局市民文化室「川崎市・ボルチモア市交流30周年記念コンサート」係

◎問い合わせ先: 川崎市 市民・こども局 市民文化室  
TEL 044-200-2030

## 講座 ダンスで国際文化理解

2010年1月22日(金)、26日(火)、2月2日(火)、9日(火) 10:00~12:00

日程	内容(ダンス・地域)	講師
1月22日(金)	アルゼンチンタンゴ	Diego & Rie
1月26日(火)	キューバンサルサ	アレキサンデル&ティガードスピカ
2月 2日(火)	タンザニア民族舞踊	伊藤 宏子
2月 9日(火)	ロシア舞踊	ルザエヴァ マリーナ

◎対象: 16才以上  
◎定員: 50名/1回(先着)  
◎場所: 川崎市国際交流センター ホール  
◎参加費: ¥1,000/1回(当日払い)  
◎託児あり: 1歳児~就学前(先着10名まで)各開催日1週間前までに要予約(お子様一人につき¥300/1回)  
◎申し込み方法: 直接来館、電話、FAXにて  
①講座名、②氏名、③住所、④電話番号、⑤保育希望の場合は、お子様の氏名・性別・年齢をお知らせください。  
◎応募開始: 2009年12月15日(火) 9:30~  
※動きやすい服装、靴での参加。ダンス(回)によって、靴下等でご参加いただく場合あり。

◎内容:

前半	50分	①講師によるダンス・舞踊演技 ②ダンスやその発祥地(国)の文化、歴史など、ダンスにまつわるお話など
休憩	10分程度	
後半	約1時間	基礎的なステップ、動き、音楽などを体験。



素晴らしいかった

## 「川崎市国際交流協会設立20周年記念コンサート」レポート

11月21日(土)3連休の初日、「川崎市国際交流協会設立20周年記念コンサート」が開催されました。会場の麻生市民館ホール(収容人員1002人)にはほぼ満員に近い観客が集い、大成功のうちに終了しました。

午後3時、コンサートはファンファーレと共に始まりました。ステージの両サイドには民間交流団体「青蘭流」伊藤紅華氏によって豪華に活けられた生花が飾られ、会場の雰囲気盛り上げていました。

第I部では「国際交流への扉」と題された映像で、国際交流の活動の様子や国際交流センターの施設、また、ホームステイボランティアの活動がストーリー仕立てで紹介され、観客は皆熱心に見入っていました。

第II部は小澤幹雄さんの巧みな話術で、演奏者と各国の様子に触れながら楽しく進行しました。まず、韓国のJisong氏の澄み切った歌声、続いてアントニー・キューネル氏のピアノ、山岸宜公氏のチェロ、村山直子氏のリコーダーの演奏。これら世界で活躍する演奏家の奏でる美しい音色に、聴衆は惜しめない拍手を送っていました。

第III部では川崎市市長の挨拶があり、国際姉妹・友好都市の紹介や国際交流の意義についてお話がありました。そして、親日家アテフ・ハリム氏のヴァイオリン演奏と、ピアニスト伊藤めぐみ氏との共演。二人の息のあったハーモニーに、集まった人々は心豊かなひと時を過ごしました。

(取材・文: 編集ボランティア 福地直子)



### 編集後記

「KIAN」から本誌「SIGNAL」に変わって3号目になりますが、いかがでしょうか? 今号の『「頑張りや」は英語でなんていうの?』というコラムを読んでみて、言葉の難しさを改めて感じました。普段、何気なく使っている言葉を英語でなんていうの? と考えるとキリがありません。先日、外国の方と「マジ」はもう古いよという話になりましたが、英語ではどうかな?

(編集ボランティア 青柳尚子)



発行 川崎市国際交流センター

〒211-0033 川崎市中原区木月祇園町2番2号

TEL 044-435-7000 FAX 044-435-7010 <http://www.kian.or.jp/kic/>

印刷・製本 八幡印刷株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-9-7-403 TEL 03-3493-4381 FAX 03-3493-4382

・本誌の記載記事の転載・利用の際は必ずご連絡ください。